

船舶事故等調査報告書

平成21年11月26日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009広第144号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成21年4月26日 17時35分ごろ	
発生場所	岡山県笠岡港 片島灯標から真方位331° 2,040m付近 (概位 北緯34° 29.9′ 東経133° 30.3′)	
事故等調査の経過	平成21年5月25日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	旅客船 ゴールドフェニックス、19トン	
船種船名、総トン数	250-39979広島、個人所有	
船舶番号、船舶所有者等	乗組員等に関する情報	
乗組員等に関する情報	船長 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定	
死傷者等	なし	
損傷	プロペラを曲傷	
事故等の経過	本船は、船長ほか1人が乗り組み、船首約1.2m、船尾約1.4mの喫水で、笠岡港住吉岸壁に着岸作業中、平成21年4月26日17時35分ごろ、西北西風にあおられて同岸壁に接触しそうになり、慌てて同岸壁から離そうとしたとき、岸壁付近の捨石に乗り揚げた。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 西北西、風速 約10.2m/s 海象：潮汐 低潮時	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし あり 船長は、笠岡港住吉岸壁に着岸作業中、西北西風を考慮した適切な操船を行わなかった可能性があると考えられる。
原因	本事故は、本船が笠岡港住吉岸壁に着岸作業中、船長が西北西風を考慮した適切な操船を行わなかったため、岸壁近くの捨石に乗り揚げたことにより発生した可能性があると考えられる。	